

■ 男女共同参画を推進する具体的施策の取組状況調査(令和２年度)

＜第２次高梁市男女共同参画基本計画＞

基本目標：Ⅰ 男女が互いの人権を認め合う意識づくり

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成２４年度～平成３３年度)	令和２年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
１ 男女共同参画についての理解・意識づくりの推進	(1) 家庭・学校・地域等における理解・意識づくりの推進	1 人権啓発リーフレットの作成・配布 2 地域人権活動ネットワーク事業 3 男女共同参画啓発・研修事業	1. 人権啓発リーフレット「きずな」を作成し、市内幼小中高校園、公民館等に配布するとともに、各種研修会等で活用した。 2. 成羽小学校において、「人権の花運動」と「人権スポーツふれあい教室」（岡山シーガルズ）を実施した。 3. 新型コロナウイルス感染症拡大のため、人権問題学習講座を中止した。	1. 14,000 部	1 社会教育課 2 社会教育課、市民課 3 社会教育課、市民課
	(2) 男性・子どもへの理解・意識づくりの推進	1 男性の参加を促す学習会等の開催 2 親子で参加できる学習会等の開催	1・2. 各校園が PTA と子どもを対象に研修を行い、様々な人権問題についての理解と認識を深めた。	1・2. 受講者延べ 829 名（女性含む）	1 社会教育課 2 社会教育課
	(3) 広報・啓発活動による理解・意識づくりの推進	1 男女共同参画に関する情報収集 2 広報誌、市ホームページ、行政チャンネル等を活用した情報提供	1. パンフレット・ポスターを庁舎内へ掲示し啓発を図った。 1. 高梁市男女共同参画基本計画策定のパブリックコメントを実施 2. 高梁市男女共同参画基本計画、男女共同参画に関する市民・事業所意識調査結果の公表 相談会や募集などの記事掲載（男女共同参画審議会委員、県男女共同参画推進センターの電話相談会など）	1. 0 件	1 秘書企画課、市民課 2 秘書企画課、市民課
２ 国際的視野に立った男女共同参画の推進	(1) 国際社会の動向の把握	1 男女共同参画に関する情報収集（再掲） 2 広報誌、市ホームページ、行政チャンネル等を活用した情報提供（再掲）	1. 高梁市男女共同参画基本計画策定のパブリックコメントを実施 2. 高梁市男女共同参画基本計画、男女共同参画に関する市民・事業所意識調査結果の公表 相談会や募集などの記事掲載（男女共同参画審議会委員、県男女共同参画推進センターの電話相談会など）	1. 0 件	1 秘書企画課、市民課 2 秘書企画課、市民課
	(2) 国際理解・国際交流の推進	1 トロイ市との相互派遣事業 2 市民と留学生との交流会事業	1. トロイ市へ公式訪問団を派遣予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 2. 市内団体国際交流活動支援事業として、吉備国際大学留学生と市民の交流活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。		1 秘書企画課 2 秘書企画課

基本目標：Ⅱ あらゆる分野へ男女がともに参画できる社会づくり

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成 2 4 年度～平成 3 3 年度)	令和 2 年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
1 政策・方針決定の場への男女共同参画の推進	(1) 各種審議会・委員会等への女性の積極的登用	1 審議会等における女性委員の登用率向上	1. 関係部署への周知・依頼を行うものの、充て職で委員をすることが慣例化している審議会等も多い状況となっている。		1 市民課
	(2) 女性の人材育成と管理・指導的立場への登用促進	1 人事考課制度の導入による人材育成 2 ワーキング・グループなどへの女性職員の積極的な参加促進 3 市内事業者等への広報・啓発等	1. 管理職及び係長級職員を対象に人事評価を実施し、女性の登用の参考とした。 令和 3 年度定期人事異動における女性の昇格者は 31 人。 (うち部長級 1 人、次長級 2 人、課長級 4 人、補佐級 12 人、係長級 9 人、主任 3 人) 全管理職（課長補佐級以上）に占める女性の人数は 50 人で、割合は 28.6%（令和 2 年度 43 人、24.5%） 2. 市町村アカデミー及び国際文化研修所へ女性職員を積極的に派遣した。 令和 2 年度において、市町村アカデミー・国際文化研修所への研修派遣 8 人のうち女性職員 4 人を派遣した。 3. 特になし	1. 43 人 24.5% 2. 4 人	1 総務課 2 総務課 3 産業振興課
2 家庭・地域社会における男女共同参画の促進	(1) 家庭生活での男女共同参画の促進	1 男女共同参画啓発・研修事業（再掲） 2 男性のための料理・育児・介護教室等の実施	1. 新型コロナウイルス感染症拡大のため、人権問題学習講座を中止した。 2. 【料理】メタボ予防、減塩等をテーマに地元産の野菜を使った献立を用いて開催 高梁市栄養改善協議会連合会主催 男性料理教室 1 回 14 人 高梁市婦人会協議会主催 男女共同参画事業男性料理教室 1 回 15 人	2. 年 2 回 延 29 人参加	1 社会教育課、市民課 2 健康づくり課、包括支援センター
	(2) まちづくりや防災活動等での男女共同参画の促進	1 女性消防団員育成事業 2 婦人防火クラブ等結成事業	1. 女性消防団員が主体の会議を実施した。 (1) 女性消防団員連絡会議 ・防火思想普及啓発に関する事業等についての会議 2. 防火思想普及のため婦人防火クラブが主体となった事業を実施した。 (1) 高齢者世帯（285 戸）を訪問し、住宅用火災警報器の設置等を促進する。 (2) 火災予防運動期間中のイベント参加と市内の幼稚園等を巡回し防火啓発物品を配布する。	1. 女性消防団員数 28 名 年 6 回 延 38 名 2. (1) 2 団体 25 名 (2) 12 団体 28 名	1 消防総務課 2 予防課

基本目標：Ⅲ 男女がいきいきと働ける環境づくり

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成２４年度～平成３３年度)	令和２年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
１ 働く場における男女共同参画のための環境整備	(1)男女の均等な雇用機会と待遇の確保	1 男女雇用機会均等法等の周知 2 企業等の積極的改善措置の推進	1. 特になし 2. 特になし		1 産業振興課 2 産業振興課
	(2)働きやすい職場環境の整備	1 パワハラ、セクハラ防止のための事業所への広報・啓発等 2 パパ・ママ・子育て応援企業登録事業	1. パワハラ、セクハラ防止関連のポスターを掲示するとともに、啓発パンフレットの配布を行った。 2. 高梁市内の事業所で、雇用する従業員の子育て及び地域における子育てを応援する企業等をパパ・ママ・子育て応援企業として登録し、市内外に広く紹介するとともに、育児休業取得や研修会の開催など実績にあった登録企業に奨励金を支給した。	2. 令和２年度末登録企業数 21 企業 奨励金交付 4 企業 5 件	1 産業振興課 2 こども未来課
２ 女性の就業等チャレンジ支援	(1)女性の職業能力の訓練・開発と再就職等の支援	1 各種職業能力向上セミナー等の広報・周知	1. 求職者支援訓練受講生募集について独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構岡山支部と協議した。その後支援制度について定期的に広報たかはしに掲載している。		1 産業振興課
	(2)自営業等に従事する女性の支援	1 自営業者に対する女性の経営参画の意識啓発 2 家族経営協定締結農家の促進	1. 例年開催している創業塾が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 商工団体（商工会議所、商工会）において経営セミナーを開催 1. 各種スクール（ニューピオーネ、トマト）を開催し、市内在住または就農希望の人を対象に、ほ場での実習による栽培講習により栽培から収穫までに必要な技術の習得を支援した。 2. 備北広域農業普及指導センター等の農業指導機関との連携により、認定新規就農者や認定農業者が農業経営改善計画書作成（新規・再認定）にあたり、配偶者間での家族経営協定締結について推進を行った。	1. 女性受講者 7 名 ニューピオーネ 6/19 名 トマト 1/5 名 2. 協定者数（配偶者間）新規 1 戸 ※累計 35 戸 女性認定農業者 10 名	1 産業振興課、 農林課 2 農林課

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成 2 4 年度～平成 3 3 年度)	令和 2 年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	(1) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	1 ワーク・ライフ・バランス推進のための普及啓発事業	1. 高梁市内の事業所で、雇用する従業員の子育て及び地域における子育てを応援する企業等をパパ・ママ・子育て応援企業として登録し、市内外に広く紹介するとともに、育児休業取得や研修会の開催など実績にあった登録企業に奨励金を支給した。	1. 令和 2 年度末登録企業数 21 企業 奨励金交付 4 企業 5 件	1 こども未来課
	(2) 育児・介護等と仕事の両立のための環境整備	1 パパ・ママ・子育て応援企業登録事業（再掲）	1. 高梁市内の事業所で、雇用する従業員の子育て及び地域における子育てを応援する企業等をパパ・ママ・子育て応援企業として登録し、市内外に広く紹介するとともに、育児休業取得や研修会の開催など実績にあった登録企業に奨励金を支給した。	1. 令和 2 年度末登録企業数 21 企業 奨励金交付 4 企業 5 件	1 こども未来課

基本目標：Ⅳ 男女がともに健やかに過ごせる生活づくり

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成 2 4 年度～平成 3 3 年度)	令和 2 年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
1 生涯を通じた健康支援	(1)ライフステージに応じた健康支援	1. すこやかプラン 2 1 推進事業 ①乳幼児健診の実施 乳幼児の心身の発達状況を見るとともに、保護者の育児上の不安や悩みについてアドバイスする。 ・乳児健診（16 回/年） ・1. 6 歳児健診（11 回/年） ・2. 6 歳児健診（12 回/年） ・3 歳児健診（12 回/年） ②親子教室、育児相談の実施 ③思春期ふれあい事業の実施(市内 6 中学計 12 回) ④不妊・不育治療支援事業の実施 ⑤母子健康手帳交付	①乳児期前期・後期、1. 6 歳児、2. 6 歳児、3 歳児の児を持つ保護者を対象に、一人 5 回の集団健診の場を提供している。健診により、児の発達状況の確認とともに、毎回、育児支援アンケートを実施している。発達に遅れのある児に対しては、心理相談、医療機関等を経て療育事業へ繋げ、必要に応じて就学まで支援する。育児アンケートを元に、育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより、育児不安の軽減を図り、育児についてのアドバイスを行う。また、育児支援アンケートの結果により、要支援、要注意、要指導と指導の優先順位をつけて健診事後フォローを行っている。 未受診者については、各担当保健師により、健診再勧奨及び未受診者の状況を把握している。 ②離乳食教室、親子教室、育児相談、要観察児教室等を実施し、子育ての方法や疑問、不安、悩みについて個人の生活スタイルや要望にあわせ、解決に向けての支援を行った。同年代の子どもを持つ親同士の交流も深めることができた。 58 回 372 組 ③ふれあい体験の前に行われる事前学習では生と性、性感染症の問題について、助産師から話を聞き、また妊婦シミュレーターによる妊婦体験、赤ちゃん人形での抱っこの練習等を行う。ふれあい体験学習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ④不妊治療助成：24 件 うち妊娠 9 件、 不育治療助成：0 件 ⑤母子健康手帳交付数 136 件	① 乳児健診 16 回 延 197 人 1. 6 健診 11 回 延 133 人 2. 6 健診 12 回 延 134 人 3 歳児健診 12 回 延 153 人 ② 親子で遊べる教室 12 回 62 組 離乳食教室 3 回 15 組 育児相談延 20 回 91 組 要観察児教室 23 回 延 204 組 ③市内 6 中学校 (3 年生 216 人) 事前学習 6 回 ④ 不妊治療助成 24 件 不育治療助成 0 件 ⑤母子手帳交付数 136 件	1 健康づくり課

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成 2 4 年度～平成 3 3 年度)	令和 2 年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
1 生涯を通じた健康支援	(1)ライフステージに応じた健康支援	⑥ 特定健康診査・各種がん検診の実施 ○受診率を向上させるための普及啓発 CATV・広報紙による受診勧奨、総合健診 個別医療機関・合同検診等検診体制の充実 ○電話による個別受診勧奨 ・乳がん検診 ・子宮頸がん検診 ・胃がん検診 ・胃がんリスク検診 ・大腸がん検診 ・前立腺がん検診 ・結核・肺がん検診 ⑦若い世代の検診の実施 ⑧生活習慣病予防のための健康教育・健康相談の実施 ⑨介護予防のための健康教育、健康相談の実施 ⑩栄養教室、男性料理教室、すこやか子ども料理教室等食育に関する教室の実施	⑥特定健診受診券は個人通知、各種がん検診と共に愛育委員を通じた「ガイドブック」の配布と受診勧奨を行う。防災ラジオ、行政チャンネル、高梁いんふお等での広報活動や健診体制として総合検診（8 会場）・合同検診（18 会場）の実施と 21 施設の個別医療機関に委託する。 節目年齢対象者には、個別通知による無料検診を案内し、集団検診・個別検診で活用を紹介。 受診しやすい合同検診体制（特定健康診査と各種がん検診の同時実施）を整備。 ・乳がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 2 人 ・子宮頸がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 0 人 ・胃がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 1 人 ・胃がんリスク検診 受信者のうちがん（疑い含）であった者 0 人 ・大腸がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 3 人 ・前立腺がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 8 人 ・結核・肺がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 0 人 ⑦健康診査に恵まれない世代を対象に健康診査（血液検査、血圧測定、尿検査、身体計測、内科診察、骨塩量測定）を合同検診または総合検診会場で実施。 要精密検診 0 名 要医療 0 名 ⑧生活習慣病予防のための健康教育・健康相談等の実施 シェイプアップ教室 4 人／回 7 人／回 計 2 回 総合健康教育 57 会場 802 人 健康相談 32 会場 182 人 ⑨介護予防のための健康教室・相談等の実施 高梁地域は、ミニデイサービス事業で、各地域は介護予防教室の中での実施。 内容：運動機能向上・口腔機能向上・低栄養の改善に向け、運動指導士・歯科衛生士・栄養士が健康教室を行う。ロコモ予防体操を各教室実施、行政チャンネルでのロコモ体操の PR を実施。 吉備ケーブルテレビの協力のもと健康教育の番組制作を行い約半年間、毎日放送した。 番組内容を DVD に収め地域で活用した。 ⑩栄養教室、食生活改善講習会等食育に関する教室実施 栄養教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 食生活改善講習会 ライフステージごとの食生活講習会 54 会場実施 参加者 726 人 リーフレット、レシピ等配布事業 26 回		

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成 2 4 年度～平成 3 3 年度)	令和 2 年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
2 安心して子育てできる環境整備	(1)多様なライフスタイルに対応した子育て支援対策の充実	1 子育て支援拠点整備事業	1. 子育て支援センター「ゆう・ゆうひろば」を開設。開所時間平日の午前 10 時～午後 4 時。 令和 2 年度は 233 日開所、利用者 2, 795 人 新型コロナウイルス感染症予防のため 4 月 23 日～5 月 10 日利用休止とし、5 月 11 日以降予約制にて開所 令和 2 年 10 月～成羽子ども園子育て支援室にて“なりわでゆう・ゆう”を開設（月 3 回程度 予約制） ・さてらいとひろば“ゆうゆう”（出張ひろば）4 回開催、参加人数延 79 人 家庭相談日開設 25 回、相談業務 25 件 ファミリーサポート依頼数 185 件	1. 開所日 233 日 利用者延 2, 795人	1～4 こども未来課
		2 放課後児童健全育成事業	2. 令和 2 年度は 15 箇所です童保育を実施。 利用登録児童数 343 人（令和 3 年 3 月 31 日時点）	2. 利用登録児童数 343 人	
		3 家庭児童相談事業	3. 家庭児童相談員を配置し、虐待などの相談業務を実施 令和 2 年度は、相談総数 83 件（うち新規 14 件（要保護 10 件、要支援 4 件、その他 69 件）の相談があった。（児童相談所送致はなし） 「高梁市子どもを守る地域ネットワーク」で継続して対応中	3. 相談件数 83 件	
		4 要支援児対策事業	4. 心身の障害等の理由により支援が必要な児童に対し支援保育を行うとともに、保護者や関係機関との連携を図り、支援児がスムーズに就学を迎えることができるよう努めた。 令和 2 年度実績 ・支援保育委託（私立 2 園） 対象児 20 人 ・支援保育（公立 13 園） 対象児 82 人 ・スクラム作戦 情報交換会 19 会場 検討件数 242 件 スクラム会議 654 回開催	4. 利用児童数 支援保育委託 20 人 支援保育 82 人	
	(2)地域ぐるみでの子育て支援の推進	1 子ども会活動支援事業	1. 子ども達の健全な育成を図り、子ども同士や地域での活動が行えるよう支援するため、活動費の助成を行った。	1. 団体数 21 団体 会員数 691 人	1～2 こども未来課
		2 三世代のよさ再発見事業	2. 事業終了	助成金額 452, 923 円	
		3 少年団活動等支援・育成事業	3. 高梁市少年団連絡会に登録している少年団 1 団体(10 名)に活動助成金を交付し、活動を支援した。 3. スポーツ少年団に対し市内体育施設の使用料免除及び活動補助金を交付して支援した。	3. 少年団 1 団体(10 名) 3. スポーツ少年団 24 団体 団員 479 人	3 社会教育課、スポーツ振興課

	(3)ひとり親家庭等への支援	1 ひとり親家庭等相談事業 (相談、自立支援、母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度) 2 児童扶養手当支給事業 3 ひとり親家庭等医療費助成事業 4 遺児年金支給事業	1. 子どもの養育や生活について、様々な不安や悩みを抱えるひとり親家庭等に適切な対応を行うために、母子・父子自立支援員による情報提供、相談業務をはじめ、求職活動に関する支援を行った。 母子・父子自立支援員相談件数 延 222 件 母子・父子・寡婦福祉貸付相談件数 23 件 (うち母子は 18 件) 2. ひとり親家庭等に手当を支給することにより、生活の安定と自立促進に努めた。 支給金額 88,268 千円 3. ひとり親家庭の健康管理向上に資するため所得に応じた自己負担額を除いた医療費を支給した。 4. 保護者が死亡した児童に年金を支給し、慰撫激励を行った。	1 相談件数 222 件 母子・父子・寡婦福祉貸付相談 23 件 2. 延べ支給人数 全部支給:1148人 一部支給:964 人 2 子加算: 950 人 3 子加算: 400 人 13 条の 2: 2 人 13 条の 3: 10 人 3 延支給件数 1,451 件 支給金額 4,022 千円 4 対象児童 28 人 支給金額 680 千円	1〜4 こども未来課
3 高齢者・。障害者・外国人等が安心して暮らせるための環境整備	(1) 高齢者・障害者・外国人等が暮らしやすい環境整備	1 各種相談・支援事業 2 バリアフリーのまちづくりの推進	1. 各種相談（行政相談、なやみごと相談、弁護士無料相談、消費生活相談、司法書士相談）を実施し、様々な相談支援事業を行った。 1. 障害について専門的な観点から相談支援を行うため、旭川荘、梁風会、NPO 法人 Color、NPO 法人発達支援ネットワークつむぎに委託して、「たかはし障害者総合相談センター」として相談支援事業を実施した。 1. 地域包括支援センター、各ステーション、在宅医介護支援センターにおいて、高齢者及び介護者等の介護や福祉サービス等の相談支援を行った。 2. 要支援・要介護認定のある高齢者が、できる限り住み慣れた住宅等で暮らし続けることができるよう、段差解消等の住宅改修を行ったものに対して介護保険住宅改修費の給付を行った。 2. 認知症の人やその家族が生活のあらゆる場面で不便なく暮らしていくために、認知症の理解と支援を促す認知症サポーター養成講座に取り組んだ。	1. 相談件数 7,664 件 1. 延べ相談件数 6,778 件 2. 151 件 16,620,602 円 2. 延べ講座回数 22 回 436 人	1 市民課、福祉課、包括支援センター 2 介護医療連携課、地域包括支援センター
	(2) 高齢者・障害者。外国人等の社会参加の促進	1 障害者地域活動支援センター事業 2 健やか高齢者生きがい支援事業 3 福祉移送サービス事業 4 市民と留学生との交流会事業（再掲）	1. 市内 3 箇所で事業を実施（NPO 法人きらめき希望会（1 箇所）、ハピネスたかはし会（2 箇所））し、障害者に対して生産活動や交流促進の機会を提供するなど、地域生活支援を行った。 2. 高梁市社会福祉協議会、有漢荘、白和荘、グリーンヒル順正へ通所サービス業務を委託し、虚弱高齢者等に対し閉じこもり防止等介護予防促進を図った。 3. 高梁市社会福祉協議会へ福祉移送サービス業務を委託し、高齢者の参加促進を図った。 4. 市内団体国際交流活動支援事業として、吉備国際大学留学生と市民の交流活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	1. 実利用者 30 人 2. 延利用者 3,235 人 3. 延利用者 3,895 人	1 福祉課 2 地域包括支援センター 3 福祉課 4 秘書企画課

方針	施策の方向	具 体 的 施 策 (平成24年度～平成33年度)	令和2年度取組事項（具体的に）	実績数値 (単位)	担当課
4 配偶者等に対するあらゆる暴力根絶のための環境整備 《高梁市配偶者からの暴力防止及び被害者支援基本計画》	(1) 配偶者等に対する暴力の防止	1 男女共同参画啓発・研修事業（再掲） 2 若年層へのデートＤＶ防止のための広報・啓発等	1. 新型コロナウイルス感染症拡大のため、人権問題学習講座を中止した。 2. 市内大型商業施設や市役所内のトイレ等へＤＶ相談ナビカードを設置した。		1 社会教育課、 市民課 2 こども未来課 市民課
	(2) 配偶者等に対する暴力の被害者支援	1 ＤＶ相談事業 2 ＤＶに関する相談窓口の周知	1. ＤＶ（デートＤＶを含む。）については、母子・父子自立支援員が相談を受け、関係機関と連携しながら、必要に応じて警察署や県女性相談所に通知を行うよう窓口を設置した。 2. 関係機関からの啓発リーフレット、チラシ等を市施設に配置し、相談窓口の周知等の啓発活動を行った。	1. 相談件数 0 件	1 こども未来課 2 市民課